

【ご相談の前に...】

ご相談時にはご本人・ご家族のご意向をお聞かせいただきます。メモ欄をご活用ください。

○ご本人はどのような生活をされたいとお思いですか？

○ご本人はどのようなことに興味や関心がおありですか？（以前はどうでしたか？）

○今、ご本人やご家族はどのようなことにお困りですか？

○専門チームにどのようなことを相談したいですか？

【ご相談先】

栗東西地域包括支援センター（栗東西中学校区内にお住まいの人）

住 所：小柿一丁目10-10 ゆうあいの家内

電 話：077-584-4121 F A X：077-584-4128

栗東地域包括支援センター（栗東中学校区内にお住まいの人）

住 所：安養寺190番地 なごやかセンター内

電 話：077-558-6979 F A X：077-558-8736

葉山地域包括支援センター（葉山中学校区内にお住まいの人）

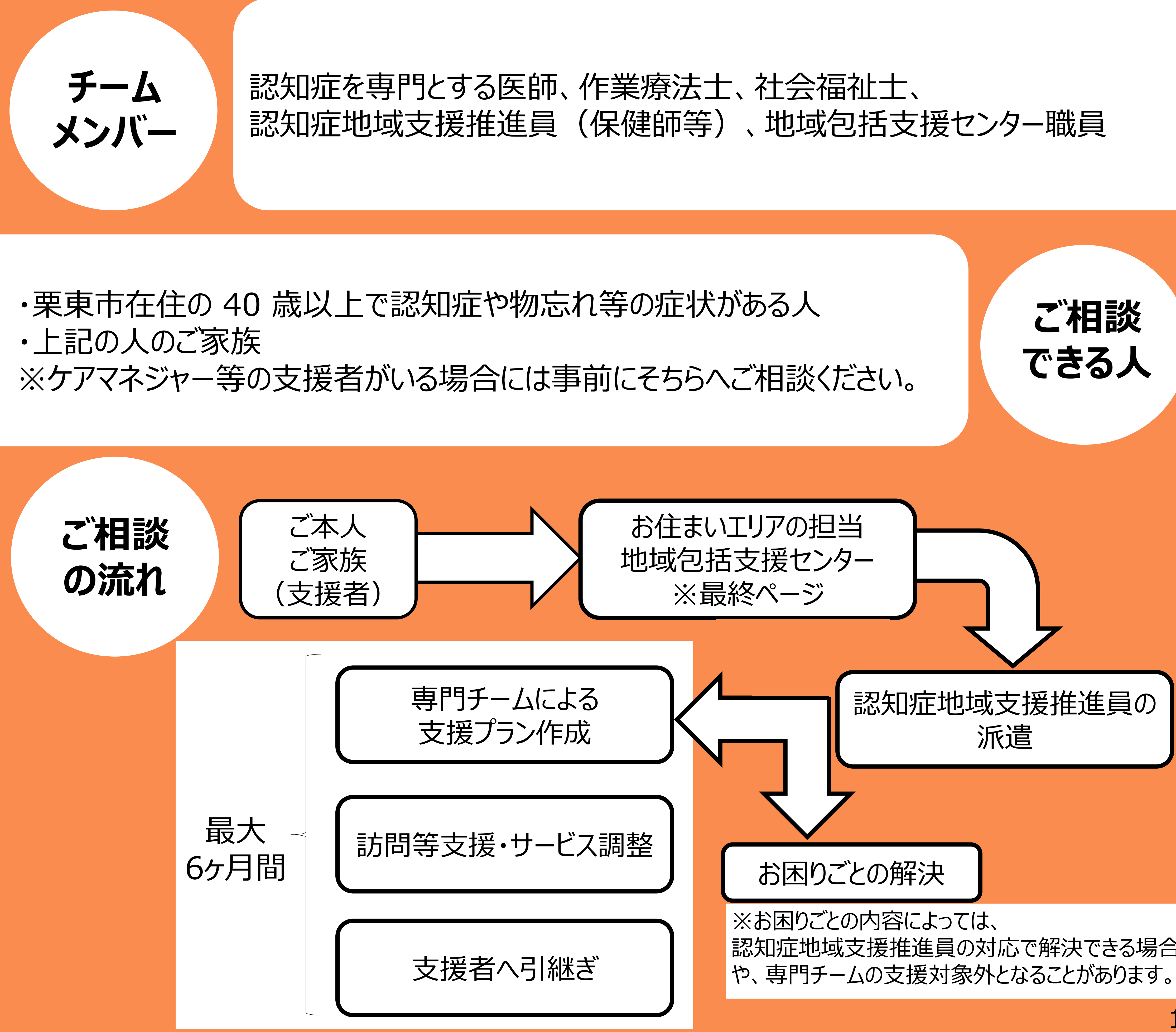
住 所：出庭700-1 やすらぎの家内

電 話：077-552-5280 F A X：077-558-6870

専門チームに 認知症相談しませんか？

認知症になると、ご本人・ご家族ともにそのことを受け入れられず、どうしたらいいのか、困ってしまうことがあります。

私たち専門チームは、ご本人・ご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、**適切なサービスの調整や精神面でのフォロー**を行います。



チーム の目的

認知症のご本人に、可能な限り本人らしい暮らしを続けていただくことです。
そのために、ご本人やご家族が抱えるお困りごとを解決しながら、一緒に今後の「暮らし方」を考えていきます。

相談費用は**無料**です。
医療・介護サービスの導入等、専門チームの支援・助言内容によっては
料金が発生する可能性があります。

ご相談 費用

支援 内容

- ・チーム員が訪問し、ご本人やご家族の相談に応じます。
- ・認知症に関することをわかりやすくご説明し、お困りごとへの助言を行います。
- ・医療・介護サービスのご提案や利用までのフォローを行います。
- ・必要に応じて、主治医や介護サービス事業所等と情報共有・連携します。

【これまでの実績】

事例 1 認知症をきっかけにご本人の意欲がなくなってしまった

【お困りごと】

- ・ご本人の理解力が低下し、ご家族に何度も尋ねられ、ご家族が疲れてしまう
- ・ご本人の意欲が低下し、家に閉じこもってしまっている
- ・ご家族としてご本人への関わり方に迷いがある
- ・ご本人・ご家族ともにサービス利用に消極的（ご本人の拒否から）

【チーム介入】

ご本人へ→聴き取りや関わりの中で本人の状態を分析
サービスのイメージを丁寧に説明し、誤った認識の修正
ご家族へ→認知症発症後の本人の変化や現在の本人の姿を丁寧に説明
サービスのメリットやデメリットについて説明

【結果】

ご本人→サービスの**イメージが変わり**利用開始。積極的に外出できるようになった。
ご家族→ご本人との**関わり方**に新たな気づき。
医療・介護サービスの利用に**メリットを感じられる**ようになった。

事例 2 ご本人との関わり方がわからず、介護負担が大きい

【お困りごと】

- ・ご家族が認知症がどんなものかわからず、どんな手立てがあるのか知らない
- ・ご本人の理解力の低下で、ご家族に介護の負担がかかっている
- ・ご本人は「家族が全てやってくれるので問題ない」と考えている

【チーム介入】

ご本人へ→ご本人の生活実態やご本人の意向の聴き取り
ご家族へ→これまでのご本人への関わり方やご家族の意向の聴き取り
ご本人の認知症の状態をわかりやすく説明
ご本人への関わり方を資料を作成し具体的に助言
ご本人とご家族の意向にあったサービスの提案

【結果】

ご本人→**興味のあること**を通所サービスでできるようになり、外出できるようになった
ご家族→ご本人がサービス利用できることで、自分の時間が持てるようになった
ご本人との**関わり方や声掛け**がわかり、**介護負担を減らす**ことができた

事例 3 ご本人が近隣住民に迷惑をかけているのではないかと心配

【お困りごと】

- ・ご家族として、ご本人が近隣住民宅に何度も行っていると聞いている
これからのご本人の変化に備えて準備していきたい
同居していないので日中のご本人の様子がわからない

【チーム介入】

ご本人へ→ご本人の意向の聴き取り（→地域のサロンやイベントに参加したい）
ご家族へ→ご本人の意向の共有とそれを実現していく方法の提案
地域へ→近隣住民等からご本人との関わり状況等聴き取り（ご家族の同意あり）

【結果】

ご本人→地域のサロンやイベントに過去から積極的に参加されており、チーム員から
近隣住民等へ協力依頼し、ご本人が継続参加できるよう**声掛け**してもらった
ご家族→ご本人の生活が成り立っているため、サービス導入は一時保留とし、住民
とともにご本人を**見守っていく**ことで理解された
ご家族の認知症理解のために**認知症専門医の受診**につながった